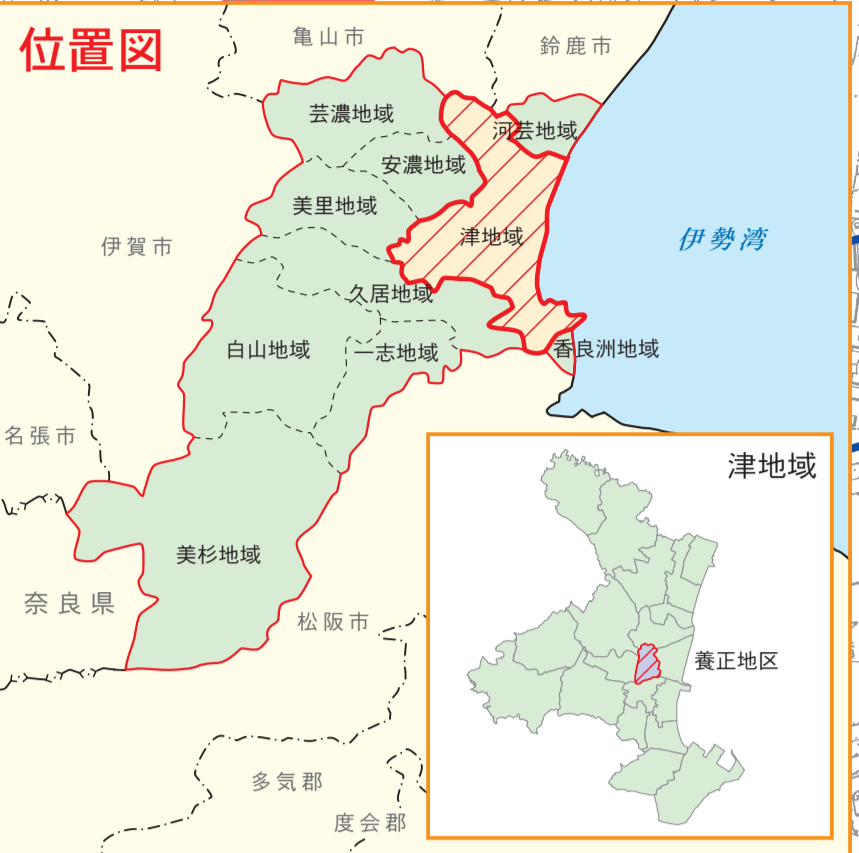


# 津地域養正地区 地震防災マップ

01-13



**防炎行政機関**

名称	電話
津市役所	229-3104
津警察署	213-0110
中消防署 中署	226-2580
中消防署 西分署	225-7431
中消防署 南分署	234-3512
北消防署 北署	232-3092

**救急告示医療機関**

名称	電話
医療法人 吉田クリニック	232-3001
岩崎病院	232-2216
国立大学法人 三重大学医学部附属病院	232-1111
三好病院	226-1111
大門病院	226-5525
医療法人 永井病院	228-5181
遠山病院	227-6171
津生協病院	225-2848
若菜病院	227-0207
久保病院	227-0207

**避難所一覧(地震災害・風水害)**

名称	電話
三重大学教育学部附属小学校	227-1293
西橋内中学校	227-5245
養正小学校	226-3332
修成小学校	228-7131

**一時避難場所一覧(地震災害)**

名称	電話
玉置町公園	-
お城西公園	-
検校公園	-
※鳥居町児童遊び場	-
観音公園	-
古河公園	-

**ライフライン関係機関**

名称	電話
中部電力(株)津営業所	226-5559
東邦ガス(株)津営業所	228-7161
西日本電信電話(株)三重支店	116
津市水道局	237-5811

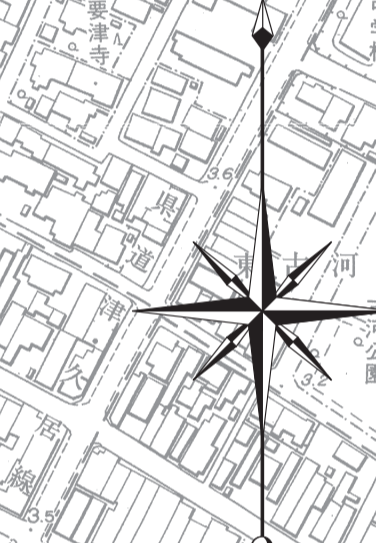
**【液状化の説明】**

液状化危険度ランク	予想される状況
極めて高い	液状化の危険度は極めて高いメッシュ内で液状化が発生する距離は2割から3割程度と予想されます。砂や泥水が噴き出し、建物や橋が傾いたり、道路が陥没したり、液を打ったりする場所もある。
高い	液状化の危険度が高いメッシュ内で液状化が発生する距離は45%程度と予想されます。砂や泥水が噴き出し、建物や橋にひずりを与える場所もある。

造成地では一般的に、盛土地盤については液状化の可能性があると考えられます。これに対して土留地盤では液状化の可能性は低いと考えられます。この地図では、造成地全域を盛土地盤として液状化危険度を判定しているため、切土地盤の盛成地については、実際よりも危険度が高くなる可能性があります。

**【急傾斜地の説明】**

急傾斜地でけがれが発生すると、急傾斜地の上部ではけがれの高さに相当する範囲で土砂が崩れ落ち、急傾斜地の下部ではけがれの高さの2倍に相当する距離まで土砂が堆積することが一般的です。角度が30度以上、高さ5m以上の区域は、法律により「急傾斜地崩壊危険箇所」に指定されています。



**【津波の被害】**

- 津市の海岸に津波が到達する時間(地震発生時から)
  - ・第一波(約20cm)・・・約50分後
  - ・最大波(約1.5m)・・・約2時間20分後
 (津波は一回きりでなく、数度にわたって襲ってきます。)
- 津波による主な被害
  - ・ひとの上まで波がくると人は立っていらなくなります。
  - ・木造建物では、1m未満の高さでは部分的な被害程度ですが、1mを超えると全面的な破壊となる場合が出てきます。
  - ・鉄筋コンクリートビルでは、2～3mの高さまで持ちこたえられますが、4mを超えると破壊するビルが出てきます。

津波は、海岸や海底の地形(V字状の高、岬の先端、湾内など)によっては局所的に大きくなる場合がありますので、注意が必要です。



**【凡例】**

- 津波浸水深(0.5m以上)
- 急傾斜地崩壊危険箇所
- 緊急輸送道路
- 防炎行政機関
- 救急告示医療機関
- 避難所
- 一時避難場所(地震災害)
- ライフライン関係機関

**【震度の説明】**

震度階級	人	間	屋外の状況	屋内の状況	木造建物
6強	立っていることができません。ほとんどの人が倒れることができません。		多くの建物で、窓のガラスが破れる。屋根瓦や看板が落下する。電線が断れる。多くの人が倒れる。自動車の運転が困難となり停止する。多くの人が倒れる。	耐震性の低い住宅では、倒壊するものがある。耐震性の高い住宅でも、倒壊するものがある。	
6弱	立っていることが困難になる。		かなりの建物で、窓のガラスが破れる。屋根瓦や看板が落下する。電線が断れる。多くの人が倒れる。自動車の運転が困難となり停止する。多くの人が倒れる。	耐震性の低い住宅では、倒壊するものがある。耐震性の高い住宅でも、倒壊するものがある。	
5強	非常に恐怖を感じる。多くの人が行動に支障を感じる。		かなりの建物で、窓のガラスが破れる。屋根瓦や看板が落下する。電線が断れる。多くの人が倒れる。自動車の運転が困難となり停止する。多くの人が倒れる。	耐震性の低い住宅では、倒壊するものがある。耐震性の高い住宅でも、倒壊するものがある。	
5弱	多くの人が、身の安全を全うすることが困難になる。多くの人が行動に支障を感じる。		かなりの建物で、窓のガラスが破れる。屋根瓦や看板が落下する。電線が断れる。多くの人が倒れる。自動車の運転が困難となり停止する。多くの人が倒れる。	耐震性の低い住宅では、倒壊するものがある。耐震性の高い住宅でも、倒壊するものがある。	

1:2,700

この地図は、既存の図面としては最新の平成27年現在の津都市計画基本図を編纂したものです。平成12年以降に建てられた建物については表示されておりませんのでご了承ください。